

令和2年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
吉備の森 自然体験会

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設での宿泊を体験し、施設を知ってもらうとともに自然素材を利用したクラフトなどの活動をとおり、自然に対する感性や探求心を高める。

2. 事業の概要

（1）期日

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 第1回 | 10月24日（土）～10月25日（日）
《窯から造ろう！ピザづくり》 |
| 第2回 | 1月30日（土）～1月31日（日）
《親子でDIY体験》 |
| 第3回 | 2月5日（金）～2月6日（土）
《松の木で作ろう 箸づくり》 |

（2）参加者

① 募集対象・人数

各回2人以上の家族8組程度

② 参加人数

- | | |
|-----|----------|
| 第1回 | 8家族（25人） |
| 第2回 | 7家族（22人） |
| 第3回 | 3家族（9人） |

（3）会場

国立吉備青少年自然の家

（4）講師等

第1回 「天体観察」

外部研修指導員 早原 功記 氏

第2、3回 「天体観察」

外部研修指導員 前田 文男 氏

（5）企画・運営のポイント

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、家族単位で活動することができるプログラムを選定し、三密を避けた活動を行った。
- ② 広報活動では、メール配信や教育事業でのチラシ配布に加えて、岡山市立の図書館にチラシ設置の協力をいただくなど、郵送代を節約した広報活動を展開した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

1 日目		2 日目	
18:30	受付	6:45	起床
19:00	『天体観察』	8:00	朝食・片付け
20:30	入浴・休憩	9:00	退所点検
21:30	就寝準備	9:30	『2日目の各種プログラム』
22:00	就寝	12:30	事業終了 昼食 ※希望者のみ

(2) 活動の状況

① 窯から造ろう！ピザづくり



② 親子でDIY体験



③ 松の木で作ろう 箸づくり



4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：84% やや満足：16%

(2) 参加者の声

- ① とても楽しい2日間となりました。コロナ禍で大変な中、事業を開催していただき、ありがとうございました。職員のみなさまの心遣いに感動しました。
- ② ピザづくりで薪を割る際に鉋の使い方を知ることができたし、テレビや漫画に出て見たことはあっても、実際に体験できたことはすごいことだったと思います。子供たちが「すっごく楽しかった!!」と言っていました。親も楽しませていただき、ありがとうございました。
- ③ 物ができる工程と楽しさを体験することができました。いつまでも大切に使用したいと思います。ありがとうございました。手作り最高です!!

(3) 成果

- ① 各活動に必要な物品を家族ごとに袋詰めにしておく等の対応を行ったことで、「新型コロナウイルスについてしっかりと対策・対応していることが伝わり、利用者としても安心して申込みことができた」と高い評価を得ることができた。
- ② コロナ禍での実施であったが、家族単位で活動することが大きなメリットとなり、昨年は最大60名程の申込者数だったのに対し、今年は最大140名と多くのお申込みをいただいた活動プログラムがあった。
- ③ 実施した3回すべてのプログラムにおいて、テレビや漫画などを通して間接的にしてきた体験を、自分で実際に体験することで、調理や物づくりの楽しさや大変さを知るきっかけとすることができた。

(4) 今後の課題

- ① 実施日を閑散期の金土もしくは土日としているが、「土日の開催でないと、1日目夜の活動時間に間に合わない。」「子どもの習い事の関係上、金土しか参加できない」と2つの意見があった。現在、各プログラムは1回ずつの開催としているが、金土と土日に連続して開催することや、時期をずらして同じ内容で開催することも検討する。
- ② 未就学児と小学校高学年では活動のレベルが大きく変わってくるため、家族を対象にした事業ではあるが、「〇〇体験～未就学児編～」「〇〇体験～高学年編～」などと対象を絞って開催していくことを検討する。

担当：事業推進係員 西川 和志